

健康経営と地域貢献の一環として 「あやべ水源の里トレイルラン」を サポートしました。

当社が本社をおく京都府綾部市で「あやべ水源の里トレイルラン」が開催され、全国から700名以上が集結。当社はメインスポンサーとして大会をサポートするだけでなく、多くの従業員が選手として、あるいはボランティアスタッフとして参加しました。

トレイルランがブームで、全国で多数の大会が開催されるようになりました。整備された一般道を走るマラソンやハーフマラソンと違い、起伏の多い山道なども含め、自然に触れながら走るもので、スポーツレクリエーションとして、あるいは健康増進・維持に貢献できるものとして注目されています。さらにレースに参加するために「農家民宿」に泊まるという外国人の方も多く、トレイルランが新しい観光（地域資産の掘り起こし）にも、地域交流が深まる町おこしにもなっているのです。「あやべ水源の里トレイルラン」は昨年からはじまったばかりですが、大会エントリーサイト(RUNET)のランキングで第1位を獲得しています。あやべが車イス駅伝発祥の地であったり、里山サイクリング大会や市民駅伝が何十年も前から開催されていて、スポーツ振興や参加者へのホ



大会で挨拶をする当社代表取締役社長荒賀誠と「あやべ水源の里トレイルラン」のポスター(右)

第2回 あやべ水源の里トレイルラン 50K/15K
Sponsored by NITTOSEIKO

2024年4月14日(日)開催

あやべ50K	あやべ15K
距離: 50km	距離: 15km
参加費: 2,500円	参加費: 1,500円
スタート料: 500円	スタート料: 1,000円
完走賞: 20,000円	完走賞: 10,000円
抽選賞: 11名様	抽選賞: 10名様
抽選額: 100万円	抽選額: 50万円

募集期限 2024年3月17日(日)まで



15キロ、50キロコース合わせて700人以上が参加。ボランティアスタッフも合わせると900人規模の大会となりました。大会を協賛する当社、日東精工の幟もスタート(ゴール)エリアにはためく

スピリタリティの知見の積み重ねが、高い評価につながっているのでしょうか。この「あやべ水源の里トレイルラン」に第1回から当社、日東精工がスポンサーとしてメインサポートをしていることに誇りを感じます。

そして4月14日(日)に開催された第2回は昨年以上の盛り上がり。700名以上が参加され、当社では協賛金支援だけでなく、参加者全員にオリジナルタオルをプレゼントしたほか、スタート(ゴール)エリアに特設ブースを出展し、参加選手とご家族、友人など応援される方々が楽しんでいただけるようなプログラムも用意しました。たとえばゴールに戻ってきた選手に(たとえ入賞圏外であっても)、子どもやパートナーの方がオリジナルメダルをつかって渡してあげようというワークショップも開催。このオリジナルメダルに当社の「ねじ」を使用することで、ねじの大切さ、つなげる大切さを訴求することもできました。

当社はスポーツ庁の「スポーツエールカンパニー2024」の認証を受けているほか健康経営、ある

いは地域貢献に関するさまざまな認証を受けており（P3参照）、従業員はもちろんのこと、地域の方々が充実した日々を過ごしていただけることを願っています。それが創業理念の根本です。



参加者やゴールを待つ応援の方には、当社の制服を着て撮影してもらおうコーナーももうけ、日東精工という会社をご理解いただきました



メダルの手づくりコーナーは子どもたちに大人気



表彰式、副賞として当社マスコットキャラクター「ねじとくん」特大ぬいぐるみを贈呈



選手だけでなくボランティアスタッフとしても、多くの当社社員が参加。写真は今年度入社の新入たちとフランスから出場した選手との記念写真

展示会を積極的に活用し、高い技術力とグループの総合力をアピールしていきます。

4月10日(水)～12日(金)まで東京ビッグサイトで「Sea Japan 2024」が開催され、30か国から600社以上の海事業界の企業が出展。当社では1949年に量水器を手掛けて以来、容積流量計をはじめ、各種流量計、遠隔計測による流量管理の効率化・高度化、防爆仕様や使用環境や用途に応じた最適なプロセス管理などを提供しています。今回の「Sea Japan 2024」でもさまざまなタイプの流量計のほか、船内・船外における各種洗浄作業などにも活用できるマイクロバブル生成装置「バブ・リモ」を展示。当社の計測制御の高い技術力をアピールすることができました。

また4月23日(火)、24日(水)に東京都立産業貿易センターで開催された「UR協働ロボットフェア2024」では、当社の「PD400 UR」を展示しました。近年、協働ロボット需要が伸長しており、当社では安川電機、ファナック、テックマンロボット、そして今回のフェアを開催したユニバーサルロボット社などさまざまなロボットメーカーと提携した製品を開発しています。ユニバーサルロボット社は欧州に本社をおく老舗メーカーで、「PD400UR」は日本でねじ締

め機として、はじめてユニバーサルロボットの「UR+」認証を取得したものです。展示会では多関節機構を使用したあらゆる姿勢でのねじ締め作業や、協働ロボット用ティーチングペンダントによるねじ締めの条件設定などを実演しました。

そのほか当社グループの日東公進が、インステックス大阪で開催された「関西物流展」に出展するなど、日東精工グループでは今後も、国内外の展示会を積極的に活用しながら、各社、各事業本部の高い技術力とグループがもつシナジー効果（総合力）をアピールし、既存のお得意様の深耕、新しいお客さまとの出会いを期待するものです。



上「Sea Japan2024」
中「UR協働ロボットフェア」
下「関西物流展」には日東公進が出展

投資家向けに 工場見学会を実施しました

当社では投資家やアナリストの方々に日東精工グループの事業内容を理解いただけるよう、定期的にIR説明会を開催しており、4月13日(土)には地元の個人投資家向け企業説明会を舞鶴市で開催しました。またそれに先立ち4月8日(月)に工場見学会を開催し、大阪や東京から投資家とメディアの方々に綾部まで足をお運びいただき、ファスナー事業、産機事業、制御事業、それぞれ3つの工場などを半日かけて見学いただきました。

当社のモノづくりを直接目で見ていただき、現場の声を聞いていただくことで、当社事業へのご理解をより深めていただくことができました。



個人投資家向け企業説明会
(舞鶴市商工観光センター)

「次世代技術者育成プログラム」利用 一期生が就業開始

2022年に「日東精工次世代若手技術者養成プログラム」を開始。これは具体的には高校卒業の新人から選抜した1名を2年



2年間の学びを終え本年に入社した大道一生

間、給与を補償し、また学費全額免除で舞鶴市の「ポリテクカレッジ」に2年間の通学を認めるというものです。今般、このプログラムの第一期生が、技能検定2級などを取得して同校を首席卒業し、本年度から就業を開始しています。

当社はたとえば「綾部工業研修所」をサポートし地域の若手技術者へ学びの場を提供する、あるいは大学生向け奨学金制度など「次世代育成」に力を入れており、今後もさらなる充実を図ってまいります。

自動試料燃焼装置の新モデル 「AQF-5000H」の販売

日東精工アナリテックは1979年創業以来、バリエーション豊富な分析・計測機器を通じて国内はもちろん海外80カ国に代理店を展開するグローバル企業です。「分析計測技術を通じて地球環境を守り、豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念に掲げ、革新的な技術開発に挑戦しています。今般、イオンクロマトグラフと接続して固体および液体試料の燃焼分解からハロゲンと硫黄の分析を全自動で行なう自動試料燃焼装置の新モデル「AQF-5000H」の販売を開始しました。



日東精工・日東公進が 「きょうと健康づくり実践企業」に認定

当社ならびに日東公進はそれぞれ経済産業省が主幹する健康認定制度、「健康経営優良法人ホワイト500」「健康優良法人ブライツ500」の認定を受けていますが、今般さらに両社は「きょうと健康づくり実践企業」、また日東公進については『「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス』の認証も受けました。また京都府の妊娠・出産・子育て支援情報ポータルサイト「きょうと子育てピアサポートセンター」では、〈子育てに優しい職場環境づくりに取り組んでいる京都府内企業〉として当社を紹介いただいています。こういった数々の認証や取材インタビューなどを励みとして、これからも従業員がより働きやすい環境づくりを行ってまいります。



進化 深化 真価

代表取締役社長

荒賀 誠

『も』の『型（かた）』として生まれ、人々の心身ともになり、それぞれの人の血が入って『型』が『形（かたち）』になる」

これは裏千家の前家元・千玄室さんの言葉です。茶道としてでき上がった型を学ぶのは基本。その基本の型の上に、「このお茶をあなたにさしあげたい」と一生懸命に点てる。その思いが上手下手を越えて、その人らしい形になるというわけです。

技術についても同じでしょう。少し前のことですが、新聞にスイス連邦工科大学の再生医療技術が紹介されてきました。脳と機械をつなげるBMI技術の進歩で、下半身麻痺の

患者が自発的に歩けるようになるというもの。リハビリとの組み合わせで治療効果の向上が期待されています。基礎研究という「型」のうえに、人の役に立ちたいという思いが「形」になろうとしているわけですね。

当社メデイカル事業でも「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」の開発により、これまでの骨折治療を画期的に変えるべく鋭意、臨床試験を積み重ねています。進化、深化、新化の目的とは？ それは人の喜びのためにほかなりません。「次代へ」を常に意識することが企業の「真価」だと思っています。

題字・文 代表取締役社長 荒賀誠

「幸せ」を見つけるヒント ——— 5月

工場の塀壁を高校生のアートで楽しく

JR綾部駅から福知山方面に列車が動き出すとほどなく右手に当社本社工場が見えてきますが、この工場の壁（塀）をキャンパスにあやべの魅力を高校生に描いてもらおうというプロジェクトが進行しています。じつは6月1日は「ねじの日」なのですが、この日をお披露目として、綾部高校美術部の生徒さんたちが協働でひとつの作品を仕上げしてくれる予定です。生徒さんにとっては街の人、観光客など多くの人たちに自分たちの作品を

見てもらい記念になりますし、日東精工にとっても自社の事業を一般の方に広く知っていただけることになります。工場の壁は長いので、まずは一画ですが、次の年には次代の生徒がと継続していく予定です。



高校を卒業をすると進学のためにいったんあやべを離れる学生が多いのですが、そういった若い世代がふるさとを誇りに思う、帰ってきたいと思えるような街でありたいと願っています。

日東精工代表取締役会長 材木正己
綾部商工会議所会頭

